広報 たかのす

63・1・1
No.615
発行日　毎月1日・16日
◆編集と発行　鷹巣町役場総務課広報係
☎62-1111
◆印刷所　㈱成文社

迎春

謹賀新年

新年にあたり皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は、鷹巣南中学校の環境整備、鷹巣農免農道の完成、国道一〇五号鷹巣バイパスの一部供用開始等、懸案の事業が順調に進行をみました。

この際、町行政に深いご理解とご協力を賜っております町民各位をはじめ、国・県ならびに関係機関、団体等に対し深く感謝を申し上げます。

本年は、新規採択事業の綴子農免農道をはじめ、国道一〇五号バイパス工事の促進、ふるさと文化伝承の大太鼓の館の着工、鷹巣阿仁広域交流センターの実効ある活用等々あり、加えて高齢化の進行、国際化及び広域的に経済、行政の展開があり、これらに対応した諸施策とその対策を精力的に講じなければなりません。

ここに英智の結集をはかり、町勢の進展と町民福祉の向上を指向し、役職員一体となって精進する所存であります。

つきましては、今後より一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

昭和六十三年元旦

鷹巣町長　出川禮一

町長日誌

出川禮一

12月1日～15日

■2日(水)＝財産区管理委員会を開く　町村合併により町内には六財産区ができ議会、管理会を設置し、執行（管理者町長）にあたっての議決あるいは同意を得ていたが、財政上の問題により現在は四財産区が管理会をもっている。また、昭和五十五年頃より大部分の財産（山林）について、町と分収契約をなし町が直接管理運営をしている。その面積は一、〇三六㌶（外に県・営林署に二四〇㌶）で町はこれまで三億四千万円の投資を行い濃密な下刈り枝打ち、間伐をなし、また林道の整備を行い将来の財産区及び町の基本財産造りと当面の雇用拡大に資している。会議は山林の管理についての意見を徴し、六十三年度財産区予算、事業等の審議が行われた。

■3日(木)＝秋田内陸縦貫鉄道定例取締役会出席

■4日(金)＝大館北秋田道路利用者会議総会に出席

■8日(火)＝県農業信用基金協会理事会出席

■9日(水)＝県高校体育連盟県北支部陸上競技部会が当町で開かれた。県陸協、郡陸協役員の立場も含め、昨今の県北は勿論、県内の陸上競技の水準が低下し、全国大会において入賞すら稀な程度となった。高校における競技種目が多く選手層が分散、且つ積雪地のハンディーは避けられないがせめて全国水準の選手養成のため狭い範囲での勝敗、一校中心にとらわれず全県規模で情報・技術強化の交換を徹底することを望むと選手監督を督励した。

■10日(木)～11日(金)＝東京にて治水事業促進全国大会。東北直轄河川治水期成同盟会建設省に陳情した。

■15日(火)＝竜森スキー場落成祝賀会に出席

七日市寺山下分譲地完成

陽当り良好!! 七区画

昭和六十一年十月より、七日市字寺山下地内に造成を進めてきました宅地分譲地が、このほど一連の登記手続きなどが完了し、一般に分譲することになりました。分譲総面積は四千四百三十二・六九平方㍍で七区画に区分されており、町道、国道に囲まれた交通に恵まれた住宅適地です。

町内でも人口減が著しい七日市地区の活性化の一環として、町単独事業で町道七日市、松沢線の延長改良工事と併行して進めてきたものです。

造成地は、七日市基幹集落センターの隣接地となっており、傾斜地を利用した段々畑のようになっているのが特徴です。陽当りもよく、地内の道路は全面舗装されており、交通至便な適地となっています。

七区画とも面積は、ちがいますが宅地のほかに、畑や庭なども十分にとれるスペースがあり、市街地にはない利点が話題となっています。

七日市寺山下団地 分譲案内

▽分譲場所
鷹巣町七日市字寺山下地内

▽分譲区画数
七区画（一人一区画より購入できません）

▽分譲面積
四百六十七・七九平方㍍（百四十一・五坪）から八百五十四・四五平方㍍（二百五十八・四七坪）まで

▽予定価格
三百二十七万四千円から五百四十六万八千円まで

▽入札方法
一般競争入札

▽申し込み資格
町内外を問いません。

▽現場説明
一月十一日午前十時、七日市基幹集落センター前

▽入札及び開札の日時等
入札＝一月十九日午後一時
入札締切後即時開札
入札場所＝役場大会議室
入札保証金＝入札額の百分の五

▽道路
町道、幅員八㍍（全面アスファルト舗装）

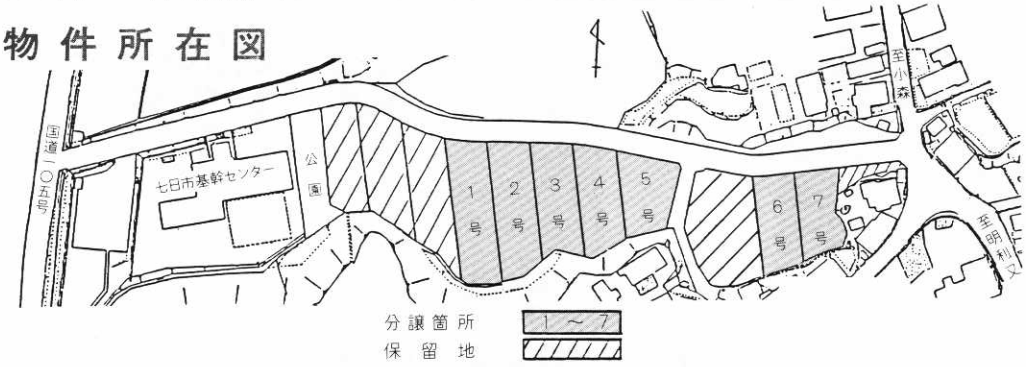
▽交通
JR鷹巣駅より七キロ㍍
バス・七日市農協前下車五十㍍

▽教育
南小学校まで三百㍍
南中学校まで二・五キロ㍍

▽その他
都市計画区域内。用途地域指定なし

▽問い合わせ先
財政課管財係（☎六二―一一一一内線二三四）

物件所在図



分譲区画及び地積

物件番号	字	地番	地目	地積 ㎡
1号	寺山下	7－8	宅地	854.45 (258.47坪)
2号	〃	7－9	〃	772.79 (233.76坪)
3号	〃	7－10	〃	643.32 (194.60坪)
4号	〃	7－11	〃	603.66 (182.60坪)
5号	〃	7－12	〃	528.98 (160.01坪)
6号	〃	7－19	〃	561.70 (169.91坪)
7号	〃	7－20	〃	467.79 (141.50坪)

農業技術テレホンサービス

鷹巣農業改良普及所では、農業技術情報のテレホンサービス〝☎62－0029番〟を行っております。ご利用ください。

1月の放送予定は次のとおりです。

■1日～7日…鷹巣阿仁部農業の展望
■8日～17日…農業経営の〝カン〟どころ
■18日～27日…米利用の食品加工について
■28日～2月5日…「あきたこまち」のつくり方

定例議会 12月

六十二年十二月定例町議会は、十二月十六日から二十五日まで十日間の会期で開かれました。議会は初日に町長の行政報告と提出議案の大綱質疑が行われたあと各常任委員会に付託、十八日、十九日の両日に一般質問、二十一日から各常任委員会最終日に本会議を開いて閉会しました。十二月定例会の行政報告は次のとおりです。なお決定した議案等は一月十五日付広報で報告します。

行政報告

〔総務課関係〕…職員の四週六休制の試行については、自治省の通達に基づき問題点を調整しながら、行政サービスに影響を来たさないよう「鷹巣町職員四週六休制試行実施要綱」を設け、去る十月十七日から概ね一年間を目途に試行中であります。

冬時間については、六十年度に一部見直しを行っておりますが、本年度をもって廃止する方向で勤務時間の夏冬統一を図るべく、目下検討しております。

町行政の統一的・効率的な運営に資することを目的に「鷹巣町庁議等設置規程」（昭和六十二年十一月二日施行）を制定し、従来にも増して、課、室、局間の連携と職員の研修を図り、目的に沿うよう努めます。

七日市工業団地PR用パンフ作成

〔企画調整課関係〕…九月定例会で改正した「鷹巣町工場設置促進条例」に基づき、「七日市工業団地」のパンフレットを作成し、県内外へ配付してPRに努めるとともに、同工業団地（南中跡地）の道路拡幅整備など、企業誘致の条件整備に努めております。

首都圏で生活する当町出身者の間で、「東京鷹巣会」結成の気運が高まり、去る十月十八日、東京で結成準備世話人会を開催し、年度内に七地区の地区会を結成、明年十月頃を目途に連合会形式で「東京鷹巣会」を結成することを決めました。

昨年十一月に先行開業した秋田内陸北線は、満一年を経過し、乗車人口九十二万四千人（一日平均二千五百人）で、旧国鉄時代に比べ二万人程増加しましたが、当初目標の八〇％と厳しい状況にあります。当町では、乗車運動の一環として、十月に二日間にわたり「開業一周年記念打当温泉の旅」を実施しました。

職員自ら町の活性化に参画する「職員一人一提言」を実施したところ、一八八件の提言があり、今後町の将来構想に合わせて検討してまいります。

鷹巣阿仁広域交流センターは、明年三月竣工の予定でありますが、十一月末現在の進捗状況は、建築関係七一％、衛生設備五四％、暖房設備五一％、電気設備二六％で、いずれも計画を上回り順調に進んでおります。

地籍調査事業では、栄字上田沢外六〇字、九・二㎢平方㎞（関係集落＝李岱、下大沢、岩坂、摩当、田沢、向黒沢）の一筆調査及び測量を完了しました。十二月十一日から各調査集落において、土地の所有者、地番、地目、境界等を確認する仮閲覧を実施しております。また、昭和六十一年度に実施した脇神字石の巻岱外三二字、一一・八㎢平方㎞については、十二月末登記完了の予定であります。

渡辺女史、一千万円を寄付

〔財政課関係〕…七日市字寺山下地内の宅地造成地は、十二月中旬に一連の前提登記を行い、明年一月に分譲の予定であります。

当町出身の直木賞受賞作家・渡辺喜恵子女子（東京都在住）より、自作の著書「みちのく子供風土記」にちなんだ「みちのく子供風土記館」の建設資金にされたいと、一千万円の寄付申し入れがあり、この趣旨を汲み受納しました。

国の方針による緊急経済対策事業として、当町関係の事業は、河川公園事業、排水対策特別事業県営圃場整備事業、団体営土地改良総合整備事業（総事業費一億九千二百五十七万円）が認められました。

〔町民課関係〕…十一月一日から七日まで実施された火災予防週間は、消防団員による巡回指導と消防本部指導のもとに、葛黒、緑ケ丘地区では、有事を想定し、分団員、地区住民・婦人消防隊による、防災訓練を実施しました。

消防施設の整備では、今泉・あけぼの町に消火栓を新設、吉ケ沢・妹尾館・緑ケ丘の消防器具置場を改築、糠沢・藤株・葛黒に貯水槽を設置、坊山の貯水槽は有蓋工事を施工しました。

三年に一度、町主催の全町戦没者追悼式を十一月六日、遺族二百三十名出席のもとに挙行しました。

社会福祉研修大会を十一月二十七日関係団体等の協力により「心のふれあう地域社会をめざして」をテーマに開催し、同大会において多年福祉等に功労のあった、個人三十名と二団体に表彰状と感謝状を贈り、その労をねぎらいました。

〔保健課関係〕…昭和六十二年度（第一五回）の健康大学は、栄地区を対象に「自らの健康は自ら守る」という意識の普及徹底をはかり、健康で豊かな町づくりを目標に開設されました。

文化祭期間中の十一月二日健康展と併せて「健康で心豊かに老いるために」をテーマに長生き談話会を開催しました。

法で義務づけられている狂犬病予防注射と登録は、十一月末現在、予防注射四八八頭、登録五四一頭であります。今後とも犬の放し飼い、危害防止等を指導してまいります。

国民健康保険の保健施設事業では、昭和六十一年度中の無傷病家庭一八一世帯と老人保健法の無傷病対象者三二人に記念品を贈りました。

作況指数県北はやや不良

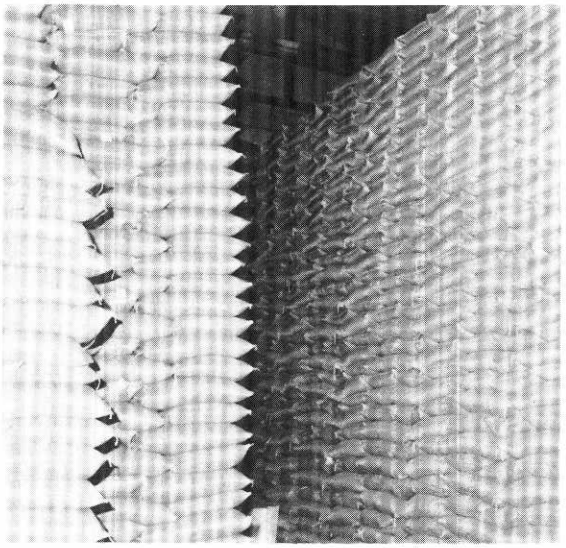
〔農林課関係〕…水稲の十月十五日現在の作況指数は、秋田県「一〇三」（昨年一〇五）県北「九七」（昨年一〇七）で、県北はやや不良となり、農家の収穫量に格差の出た年でありました。

十二月一日現在、町産米総出荷量は三六九、三八五俵（三十キログラム）昨年最終実績は四三五、九三九俵で、前年比六六、五五四俵の減収となっております。また、六十二年度転作実績は、六五六ヘクタール（目標六四二ヘクタール）で達成率一〇二%となりました。転作面積の大幅増と助成金減により、団地化が若干進んだものの作目選定と面積消化に苦慮しました。

養鶏・養豚農家は、円高による安価な購入飼料に支えられ経営を維持しているものの、依然として価格低迷により厳しい状況にあります。一方、五十八年以来、子牛価格の低迷で活気を失っていた市場が、本年当初から上昇に転じ、四二～三万円（昨年平均三三万円）を維持しました。

農業振興地域整備計画については、社会情勢の変化と農振法の一部改正等により、各界から構成する委員等の意見を徴し、全体的に見直しをした整備計画案を県に申請し認可されました。

六十二年度の融雪災、七月災、八月災による農業災害は六九件、採択額九千四百三十五万二千円となっております。三月末までに約五九件（八五%）の復旧予定であります。



六十二年度採択された家向地区団体営農道整備事業（延長五〇八メートル、事業費一千九百万円）、吉野地区県営山村基幹農道（延長二、九〇〇メートル、事業費一億二千万円）を発注し、年度末までに路体工の完工予定であります。

鷹巣農免農道整備事業は、内陸線上中岱踏切の拡幅工事完成により、当初計画区間二、二九三メートルが完工し、十一月一日より供用開始されました。また、六十二年度採択された綴子農免農道は、県営により米代川地質調査ボーリングも終り、実施設計の段階であります。

第三回みんなでつくる「緑と憩の町」づくり、町民慶祝記念植樹祭が十月二十一日、町道大向―金沢線沿道に五六人が参加し、日本桜の会寄贈の山桜と吉野桜の記念植樹を行いました。

大野台農業開発については、国の開発調査が五

月からスタートし、本同意を円滑にするため、課題検討会を設置しました。

湯の岱温泉駐車場の消雪設備完成

〔商工課関係〕…中小企業振興資金制度（マル鷹融資）の利用状況は、十一月末現在で四六件、一億六千六百五十万円、利用残高は一六三件、三億六千百九十七万七千円となり、預託額に対して三・六倍の利用額になっております。

第七回産業祭は「地域おこしは、みんなの力で」をメーンテーマに、十一月一日から三日まで開かれ、一万三千五百人の人出で、農・工・商による展示と即売を行いました。

商店街近代化計画の一つとして、銀座通り商店会の新アーケード、カラー舗装等の建設は、町でも工事費を補助し、総工費二億三千三百九十二万円をもって、この度竣工しました。

県主催による「第一回秋田ふるさと博」が、十月二十二日から六日間、秋田市において開かれ、当町から三社が出店し、実体験を積むことができました。

町ヘラ鮒釣研究会の協力により、中央公園大堤に、ヘラ鮒稚魚五百㌔を、今泉大堤には、県ヘラ鮒放流協議会が同じく五百㌔を十一月上旬放流を行いました。

湯の岱温泉の利用状況は、十一月末現在の操業日数が二二八日で、入浴利用者は三万五千四百五十四人となり、一日平均一五六人となっております。このうち町外利用者は約二割にあたります。八月オープンの別館については、休憩室利用者が十一月末現在で一、〇〇八人に及んでおり、渡り廊下、駐車場消雪設備の完了によって、利用者の便宜を高めることができました。

出稼互助会の加入状況は、十一月現在で三一七人となっており、昨年同期を若干下まわっております。出稼先別では、関東六六・八％、中京二八・一％、関西四・一％の順になっております。なお児童生徒の作文集「ろばた」第十六集を発刊、出稼者の就労先に発送の運びとなっております。

直営による舗装は四、三五二㍍

〔建設課関係〕…本年四月より十一月末までに発注した各種工事は一三六件、五億二千六百九十五万三千円、予算対比九一・六％の発注率です。

災害復旧工事関係では、現年災四五件のうち、四四件を発注済です。

直営の舗装関係では、脇神・横渕線外十五路線四、三五二㍍、湯の岱温泉前駐車場一、一七四平方㍍を完了しました。

除雪対策については、幹線道路、生活道路、その他道路を含めて、一九四㌔を、直営一四台、委託二八台の除雪車配置計画をたて、万全を期しております。

国・県とタイアップしてすすめてまいりました国道一〇五号鷹巣バイパスが部分供用され、十一月十三日に開通式が行われました。未着工の太田、大堤間の地権者に対しては、これまで数回の説明会を開催し、用地及び補償等について理解と協力を求めております。なお、谷地川以北より国道七号線までの用地測量は、十一月末で完了したので十二月中に個人ごとの潰地及び買収単価の提示を予定しております。

都市計画街路事業では二二人の関係者のうち、一九人が解決しました。

〔教育委員会関係〕…竜森小学校創立百十周年記念式典は十一月八日に、南中学校創立四十周年記念式典は、一月十五日にそれぞれ行われました。

東北総合バスケットボール選手権秋田県予選が十月十六日～十八日鷹巣体育館を主会場に、男女五九チームが出場し、熱戦が展開されました。

第十九回文化祭は「町づくりと文化を考える」をテーマに、十一月一日から三日まで中央公民館ほか二会場で開催されました。

田沢地区簡水一月から給水開始

〔水道課関係〕…舟見町地内に配水管制水弁を設置し、配水場敷地のフェンス改修工事を完工しました。また、松葉町地内のＮＴＴ通信施設工事に伴い、配水本管の移設工事も完工しました。

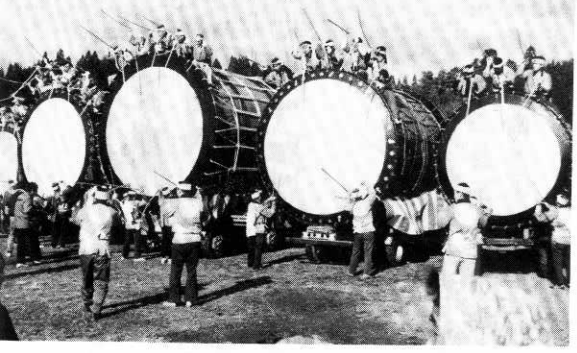
簡易水道事業では、摩当簡易水道拡張工事（田沢地区）が延長七八二㍍、給水件数一六件、事業費五百九十万円、田沢浄水場新築工事百四万五千円で施行され、十二月末完工の予定であります。また、小猿部地区簡易水道新設計画に関連のある町道七日市・松沢線（中畑地内）の道路改良工事にあたり、改良区間四〇四㍍に対し、百六十万九千円をもって配水本管を先行埋設しました。

昭和六十二年度上期の給水状況は、上水道給水件数三、一八八件、給水量四七三、七三三立方で対前年比件数一〇二％、給水量一〇三・六％であります。簡易水道では、件数二、二一五件、給水量二一四、〇四三立方で対前年比件数一〇二・八％、給水量九八・二％となっております。

〔広域市町村圏組合関係〕…広域圏組合において計画の廃棄物処理施設整備事業については、建設予定地を湯車地内として進めておりましたが、地権者の承諾が得られないことから、協議の結果、緑ケ丘地内に変更、地権者と用買の交渉中であります。

「大太鼓の館」構想案を大募集!!

入選作七点に賞金と副賞



鷹巣町が全国に誇る綴子大太鼓がこのほど「世界一」の認定を受けました。（昭和六十二年版世界ギネスブック）

町では、これまで大太鼓の保存と地域、文化財、物産を有機的に結んだ「大太鼓の里」づくり構想を関係者で検討してきましたが、いよいよ昭和六十三年、六十四年度の二カ年事業として、約四億円を投じ建設することになりました。

十和田・八幡平と田沢・男鹿など観光ツアーの中間地である当町の地の利を最大限に生かし、町おこしの拠点としてまた秋田の新たな観光名所としても注目を集めています。

大太鼓の里づくりの概要

○建設予定年度＝昭和六十三、六十四年度
○建設予定地＝綴子地内（国道七号線沿釜堤地内）
○敷地面積＝約二万平方㍍
○施設＝大太鼓の館、物産館、イベント広場ほか

「大太鼓の館」構想案応募要項

これまで町では、構想懇話会などからのアイディアや地元の要望などを集約してきましたが、全国に向けた事業のPRと斬新なアイディアをマスタープランに反映させるため、大太鼓の里の中核施設となる「大太鼓の館」について広く一般から構想案を募集するものです。

▽応募資格　中学生以上
▽応募図書
・姿図（透視図）イラストでも可　一部（B四版）
・平面図（二階建以上は各階ごと）　一部（B四版）
・簡単な構想の説明　一部
▽応募案に関する事項
・応募案は未発表のもので一人何点でも応募可
▽審査と賞
審査委員会において
・入選一点（賞金・五万円、副賞・大太鼓サブレ〈直径一㍍〉二万円相当）
・準入選一点（賞金・三万円、副賞・特産ドライビーフ一万円相当）
・佳作五点（賞金・一万円、副賞・特産舞茸五千円相当）
を選定し、二月二十日頃に入選者へ直接通知します。
▽締切日
昭和六十三年一月三十一日
▽問い合わせ先
企画調整課（☎六二―一一一一　内線三三一）

冬季スポーツ教室に あなたも参加しませんか

冬季間は、とかく運動不足になりがちです。

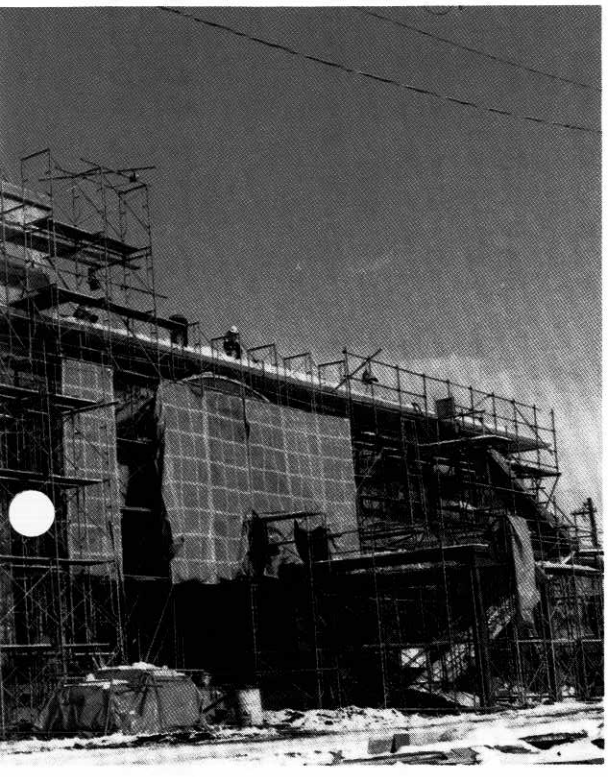
町では、体力づくりに各種のスポーツ教室を開設しましたので、ぜひご参加ください。

◆硬式テニス＝一月十一日（月）～三月十四日（月）毎週月曜日（十回）
◆バドミントン＝一月十二日（火）～二月十六日（火）毎週火、金曜日（十回）
◆卓球＝一月十二日（火）～二月十六日（火）　毎週火、金曜日（十回）
◆軟式テニス＝一月二十二日（金）～三月四日（金）毎週金曜日（十回）
▽時間＝午後六時三十分～八時三十分　▽場所＝体育館　▽対象＝一般男女　▽参加料＝一教室千円　▽申込み＝参加料を添えて教室開始三日前までに体育館（☎六二―三八〇〇）へ

※次の地区でも一月からスポーツ教室を開設しておりますので、気軽に参加してください。
▽綴子地区＝北健康増進センターでボールを利用したスポーツ　▽坊沢地区＝西小体育館で主にバドミントン　▽栄地区＝東小体育館で主にバドミントン

新春に大きくはばたく

シンボルタワー、姿を現わす



昨年七月に着工しました鷹巣・阿仁広域交流センターの工事進捗率は十二月二十三日現在で、建築関係七十五%、衛生設備五十八%、暖房設備五十三%、電気設備三十五%と順調な仕上りをみせています。

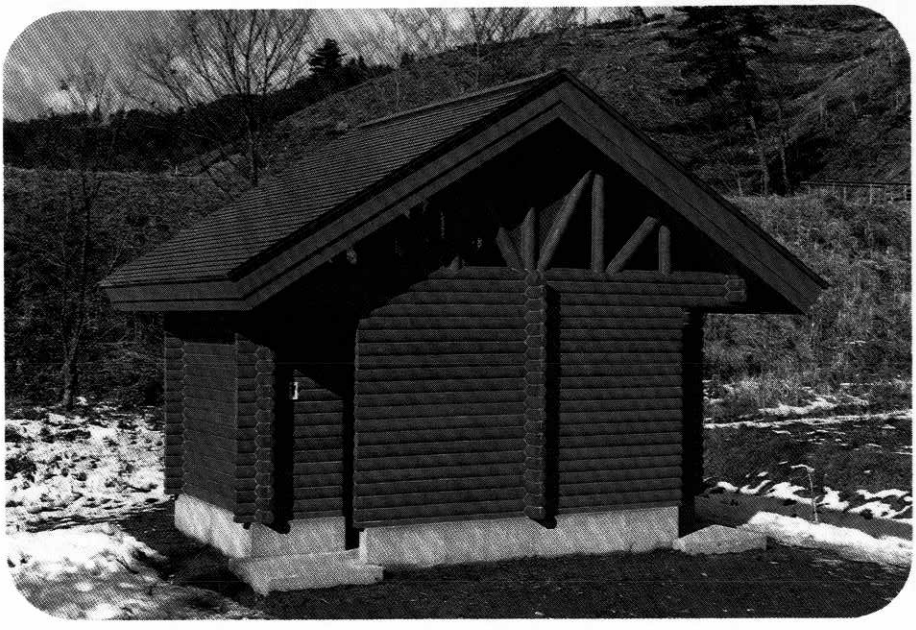
同センターは、鉄筋コンクリート二階建で延面積二千九十平方㍍、総工費五億五千三百万円を投じ、従来の交流センターには見られない郷土色豊かなデザインで、入口上部の大太鼓や、シンボルタワーの勇姿が現われてきました。

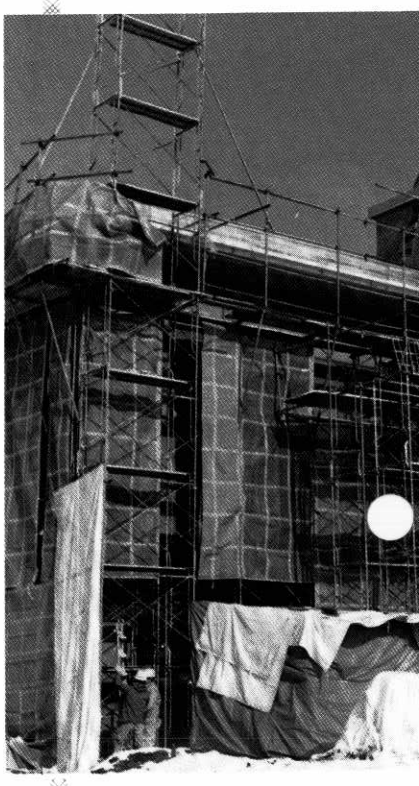
鷹巣・阿仁部の拠点として多くの圏民が完成を待ち望んでいます。

間伐材によるログハウス大好評!!

鷹巣町森林組合では、良質の造林杉に欠かせない間伐により大量に出る間伐材を利用したログハウスが好調な売れ行きを見せています。新建材やコンクリートにはない柔軟な木肌やあたたかさがあり、関東方面では別荘感覚が受け、自然にマッチしたログハウスがブームとなっています。

価格は現在のところ一般住宅に比べ割高となっていますが、〝軽井沢で鷹巣産のログハウス〟にお目にかかれるのも間近かです。



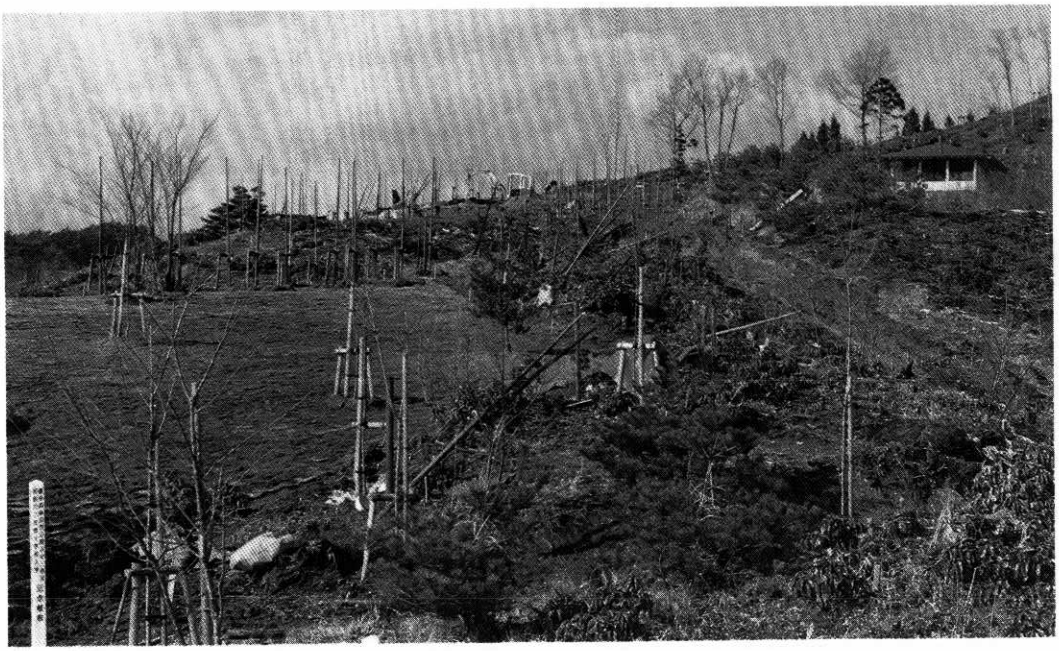


イチゴ栽培にいどむ

雪がちらつくなか、イチゴ栽培に取り組んでいるのは藤株、畠山伝吉さん（45歳）。畠山さんとイチゴの出会いは、群馬県でハウス一面に色づいた実を見たのがキッカケだそうです。現在植えている品種は盛岡16号。甘く、光沢があり長持ちするのが特徴で、12月から８月まで苗を冷蔵庫に入れ〝冬眠〟させる株冷方式にしてから年二回収穫できるようになりました。「手間がかかり大変だ」と言いながらも目を細めていました。

町の新名所、慶祝森林公園

町民に親しまれる憩の場として、坊沢・深関地内に造成を進めている慶祝森林公園は、町の植樹祭や慶祝記念の植栽会場として、アジサイ、桜、ナナカマドなどの樹木が植えられてきました。現在、林間広場、東屋、管理道路などの整備が着々と進んでおり、雄大な森吉山にいだかれた町の遠望は訪れた人を楽しませています。四季を通じ町民が花木に親しめる遊山公園として、総額三億円余りの整備事業に大きな期待がよせられています。



禁煙教育は小中学校で

鷹巣町青少年問題協議会

青少年の非行防止と身心の健全な発達を図ろうと、十二月十日午前十時から、役場三階大会議室で鷹巣町青少年問題協議会を開催しました。

同協議会は学校やＰＴＡ、青少年団体、公民館などの代表者で構成されており、委員二十四人が出席。家庭の日の定着や冬休み中の事故防止などについて話し合われました。

家庭で親子の対話を

家庭の日運動の推進では、スポーツの過熱や各種行事が増えており、そろって日曜日は休みという家庭は少なくなっているとのことでした。

親子の対話がうすれると家庭が暗くなり非行になりがちということから、組織的に「家庭の日」（毎月第三日曜日）を定着させようという意見が多く出されました。

協議会では、今後さらに会議で検討を加えながら、家庭の日運動を推進する専門委員会の設置を図る計画であり、官民総ぐるみで取り組むことになります。

また、現在でも家庭の日には消防署の望楼で呼びかけておりますので、それぞれの家庭でも親子の対話を深めるよう努力してください。

高校生は無断外泊禁止

冬休みの暮し方と事故防止についても協議されました。とかく長期間の休みは、気のゆるみから解放的になりがちでありますが、町内の小中学校では、〝あいさつはいつもどこでも〟〝交通ルールを守ろう〟を年間の共通目標に、冬休みは〝家庭の役割とお手伝い〟をやらせることにしており、高校生は〝無断外泊の禁止〟をしているとのことでした。

また、高校では喫煙の防止にも努めており、医学的にも「十代と二十五歳以上の喫煙では成人病になる確率が百倍近い差がある」という、ショッキング的な事例を引用するなど、タバコの有害性を訴えていました。

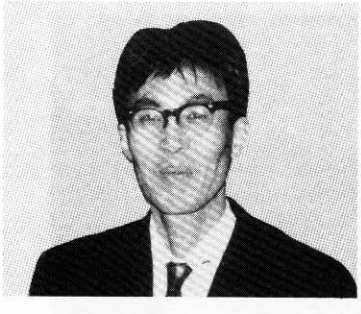
さらに、タバコの禁煙教育は、高校生や大人になってからでは遅いので、小中学生の時に恐ろしさをピーアールしてほしいという意見も出されました。

冬期間は、部屋の中で過ごすことが多くなりますので、地域みんなの協力で非行のない町づくりに努めましょう。

ふるさと人物伝

畠山益穂（はたけやまますお）

（一九三二―一九八七）



「先生、私に来年の春あるすべが。私、死んでも山さ行かねばねすでば」

益穂は肺癌のため迫りくる死を予感しながら、主治医とこんな会話をしていた。

去年、東京国立医療センター入院中も、外に出ては草のある所を歩き、病院に新聞紙を持ってこさせ、標本を作る彼であった。

死の十日前、裏の小屋に整理してあった標本を県立博物館の高橋主事に渡した。全国各地から採取したもので、ダンボール箱で五十五個あった。博物館では「畠山益穂コレクション」として大事に扱うという。

念願の「鷹巣地方植物誌」の編集は、阿仁部も含め千二百種の資料を八つの書類袋に詰め、序文、あとがきはかきかけのまま印刷所に渡したのは死の三日前である。

益穂は、昭和七年、七日市、畠山政治の三男に生れ昭和二十六年、鷹巣農林高校を卒業、小学校教諭として町内外に勤務、各校では理科教育に成果を挙げ、病気のため昨年三月退職する。

彼は本格的な植物研究家で、特に「日本のシダ植物図鑑」東大出版会刊全四巻には畠山益穂の名が頻繁に出てくる。新種発見もあるが学閥系列の中にいないので、他人に名をとられるからと発表をひかえていたという。去る十二月四日没、五十五歳、筆者とは鷹巣小で同職。（洋子未亡人談より）

文責　長崎　久

カメラルポ

〝生の英語〟に瞳が輝く

英語指導助手として派遣されているレスリー先生が、12月15日鷹巣中学校２年生を担当しました。初めは緊張していた生徒たちも、明るく、ユーモアに富んだ先生にすぐ馴染み、教室では少し照れながらもレスリー先生に「ベリー・グッド」と言われてニッコリ。生徒たちは「楽しい、なん度でも来てほしい」と感想を話してくれました。

年末恒例の民謡チャリティ

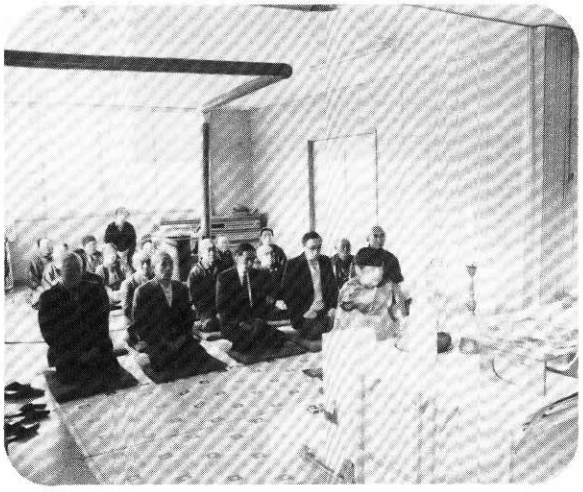
12月12日、日本民謡協会秋田県支部主催の第13回歳末民謡、民舞チャリティショウが中央公民館で開かれ、この日を待ちかねた多くのファンで超満員の盛況でした。同支部からは全国大会に多数の上位入賞者を出しており、〝玄人芸〟に観客はおおいに満足したようです。会主・戸沢義若さんから今年も歳末たすけあいの目録が送られました。

綴子保育園の年長、年中児35人が、12月21日青山荘を慰問しました。同保育園の慰問は10年以上も続けられており、老人たちは、かわいい衣裳をまとった〝天使〟の踊りや合奏に時を忘れ見入っていました。老人の中には手拍子をとる姿もあり、花束や手づくりの首飾りをもらうと「んにゃ〜、めんこいごど」と目を細めていました。

園児の踊りに目を細める

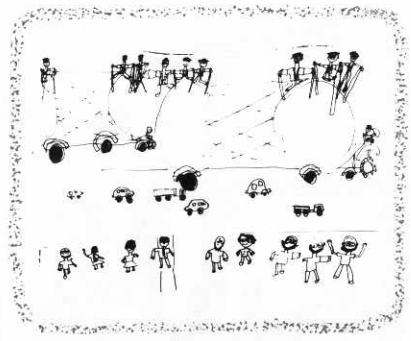
12月14日七日市第１、第２老人クラブで作ったしめ飾り千五百個の清め式が、七日市基幹集落センターで行われました。11年前より作っていますが材料となるクゴやシゲが少なくなっており、準備に大難儀。それでもこのセンターに集まり、話っこをするのが一番楽しいとのこと。この日も老人たちの笑い声が館内に響いていました。

〝まごころ〟こめたしめ飾り



の広場

綴子保育園
つや　りょうたくん（5歳）



八幡屋のちょうちん
（昔のはたごや）

昭和の初め頃、羽後銀行の位置に八幡屋があって、黒い板塀にかこまれた玄関に、夜、ろうそく灯のちょうちんが明々と照っていた。

黒の人力車から泊り客が降りてきて、情緒ある昔の風情であった。

（佐藤　富雄氏）

これまで「我が家の漬け物」をテーマに、それぞれの方から感想を述べてもらいましたが、みなさんの感想や考えが生かされるように、鷹巣農業改良普及員・松村星子さんから助言していただきました。

飽食の時代、食事の画一化などと言われている今日、漬けものだけは、伝承技術の手づくりで食卓を楽しんでいる四人の人達の「我が家の漬けもの」を読ませて頂き本当にうれしく思いました。

成田さんの〝カタウリ味噌漬け〟は、お母さんから伝えられた技術を更に減塩してつくっている現代風味噌漬けです。しかも菊の花が中につめられた手のこんだ、切り口のきれいなものと思います。味も丁度よいものと見受けられます。

佐藤さんの〝大根の酢漬け〟は塩が三%弱なので長期保存は出来ないがパリパリした漬けものです。それに酢と焼酎

ふるさとのみなさんへ

上京の仲間と同級会

埼玉県　横峯礼子（四十三歳）

十二月六日、日曜日の朝にしては静かだなあ…と思いながら外を見ると雪が降っているじゃありませんか。

今日は鷹巣中時代の同級会を、東京近郊に住んでいる人達が集まって開催する事になっていました。私は初めての出席でしたが、年一回、十二月の第一日曜日に開く様になって三、四年になるそうです。集まった人は三十人程で、半分以上顔を思い出せないというより知らない人がおりました。

それというのも私達は中学三年の六月から統合になり、旧七座中の一クラスから突如六クラスになって目を白黒したあの頃を思い出しました。ともかく昔の友とナベを囲み、お酒を飲み交していると家族の事から友達、ふるさとへと話はつきません。特に七座小、中学校いっしょだった仲間八人も顔を合わせ、昔の出来事を全部知っている間柄とあって言いたい放題だ。場所を移して飲みなおし楽しい一日でした。

〝ふるさとの皆さん〟上京している皆さんも元気に頑張っています。今度帰郷の節はそちらで楽しく語り合いたいです。

▽今泉・簾内政雄さんの長女です。

メガネをかけているのが私です。

みんな

綴子保育園
たかはし　くみこちゃん
（5歳）

を使用しているので発酵するのをおさえ、味をひきしめている。これも減塩漬けとして美味しいでしょう。欲を言えば出し昆布、レモン等を使用するともっと風味が出て味もよくなると思います。

伊藤さんの〝こはぜの漬けもの〟は、夕市やグループの朝市でも見られます。大根を一次加工し、それを更に甘く煮たこはぜで漬けているので酸味も丁度で味も良いのです。こはぜの自然色で若い人達によろこばれます。また他の漬けものも、砂糖をあまり使用しないように糀を上手に利用するなどして心くばりをしている様子がうかがわれます。

佐藤信子さんの〝山ごぼうの味噌漬け〟は、アクが強いので一次加工と、アク抜きをおろそかにすると色の仕上りが良く出来ません。それを良く守られて加工しているようです。山ごぼうは歯ざわりも風味もよいので、さぞ美味しい味噌漬けでしょう。

最近の漬けものは低塩・増酸・低甘味で健康を考えたものが多く出廻っています。四人の方達はそれを考慮し、野菜のもち味を生かした漬けものを工夫されている。地域の人達にその技術をもっと広げてくださるようお願いしたい。

広報のびおり

辰　年

辰は十二支の中で唯一の空想の動物です。動物図鑑には、竜として載っており「大蛇に角や猛獣、猛鳥の頭を組み合わせた伝説の動物」とあります。

伝説の竜は中国や日本だけでなく、同じようなものがヨーロッパやインドなどにも見られます。竜は日本では、水をつかさどる力を持っているとされ、竜神や竜王に雨ごいをする風習が各地にあります。「竜住む池は水枯れず」などといわれるのはこのためです。

竜は諺にもしばしば登場します。「竜吟ずれば雲起こる」とは、英雄を竜にたとえているのです。竜は強いものとされていますが、「竜虎あい撃つ」ともいわれますから、竜は虎とは互角のようです。

さて、みなさんはこの新年をどんな決意でお迎えになりましたか。いずれにしても「竜頭蛇尾」に終らないようにしたいものでね。

たかのすの昔っこ

先号でも掲載しましたが、昭和29年頃の綴子下町地内の用水路工事。現在は道路も舗装、側溝も整備されておりますが、この道路下にはヒューム管が埋設されており、米代川（糠沢上流）から揚水機で水揚げし、綴子地区の田んぼに利用されている。（写真提供・綴子土地改良区）

おしらせ

老人の精神衛生相談室を開設

鷹巣保健所では、老人性痴ほう疾患など、老人の精神衛生に関する相談室、一般健康相談室を開設しました。

医師、保健婦が直接相談に応じますのでご利用ください。

▽精神衛生相談＝一月十三日、二十七日（午後一時～二時三十分）

▽一般健康相談＝一月十四日、二十八日（午前九時～十一時）

▽場所＝鷹巣保健所

母子健康手帳交付と妊婦教室

妊婦を対象とした、母子健康手帳交付、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

◆母子健康手帳交付と第一回妊婦教室（必ず本人がおいでください）

▽日程＝一月十一日、十八日

▽受付時間＝午後一時から一時三十分（終了時間三時）

▽妊婦教室内容＝妊娠中の栄養、母乳栄養、母子健康手帳の使い方、映写など

▽持参品＝印鑑

◆第二回妊婦教室

▽日程＝一月十四日　▽時間＝午前十時から午後三時まで

▽妊婦教室内容＝講話、実技（妊婦体操、赤ちゃんのお風呂の入れ方）、映写など　▽持参品＝母子健康手帳、トレパン、テキスト、昼食

※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

生ワクチンの予防接種

生後三ヵ月から十八ヵ月までの乳幼児を対象に、経口ポリオワクチン（小児マヒの生ワクチン）の投与を行います。予備期間として四十八ヵ月まで投与できます。

投与日は、鷹巣地区以外の方は二十八日、鷹巣地区の方は二十九日です。

以前一回しか投与されなかった場合は、必ず二回目の投与を受けてください。

受付時間は、午後一時から二時三十分まで、中央公民館ホールで行います。

※禁忌と注意

生ワクチンに関する一般的な禁忌である免疫産性機能に異常ありと想定される場合は投与を行いません。その他、下痢患者も治癒してから投与します。母子健康手帳を必ずお持ちください。

水田耕作面積の移動届

六十三年度の水田耕作面積を把握するため、昨年中に売買、賃貸借などにより、水田面積に移動がある方は、一月二十日（期限厳守）まで、農林課農政係または各地区の農協へ届出ください。

※期限がすぎてから提出されますと、一切の算定が六十四年度に計算されますので早めに提出してください。

「広報たかのす」郵送サービスします

町では「広報たかのす」を町外居住者の方にも購読していただくため、郵送サービスを行っております。

郵送希望者は、一年分（毎月二回発行をまとめて月一回送付）郵送料七百二十円を添え、送付先の住所、氏名をお知らせください。

夜間当番医（夜間診療）の日程表

（午後6時30分～9時）

1月	曜日	医療機関名
1	金	近藤医院
2	土	佐々木産婦人科医院
3	日	佐藤外科消化器科医院
4	月	鷹巣病院
5	火	藤原医院
6	水	奈良医院
7	木	盛岡外科医院
8	金	北秋中央病院
9	土	戸嶋産婦人科医院
10	日	戸嶋医院
11	月	近藤医院
12	火	北秋中央病院
13	水	奈良医院
14	木	佐藤外科消化器科医院
15	金	藤原医院

急患以外は受付けません。

1月10日は「110番の日」

―あわてず、急がず、落ち着いて―

ためらわず、こんなときにも110番

▶どろぼうなどの被害にあったら

▶たおれている人がいたら

▶交通事故があったら

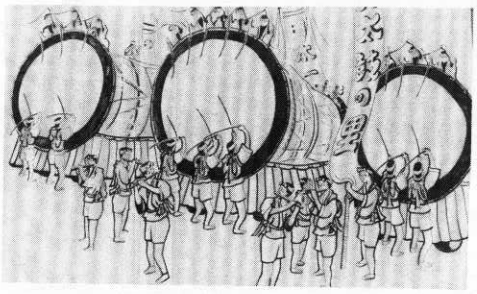
▶けんかを見たら

▶押し売りがきて困ったら

▶不審者を見たら

あなたの110番で警察はすばやく行動します。

おしらせ


一線美術会運営委員　九島章二氏

一月の健康相談

一月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は十三日と二十七日です。

時間は午前十時から午後三時まで、血圧測定のほか尿検査、体重測定など行います。

また、**慢性病予防教室**では十三日＝糖尿病、二十七日＝高血圧症の日常生活の指導を行います。

受付時間は午後一時。

◇　◇

リハビリ学級は二十日です。

在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。時間は午前十時から午後三時まで。

※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

◇　◇

四ヵ月児健康診査は二十六日です。

対象は六十二年九月生まれのお子さんです。

小児ガンの早期発見の検査もしますので、必ず受診してください。

受付時間は午後零時四十分から午後一時まで。

◇　◇

離乳食指導と七ヵ月児健康相談は二十六日です。

対象は六十二年六月生まれのお子さんです。

受付時間は、午前九時三十分から十時まで。おいでの時は母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

つごうで受診できない場合は次回に受診してください。

◇　◇

三歳児健康診査は七日です。

対象は五十九年十一月、十二月生まれのお子さんです。

受付時間は午後零時四十分から一時まで、母子健康手帳問診票をお持ちください。

※場所はいずれも鷹巣保健所です。

停電のおしらせ

一月の作業停電は次の地区です。

▽11日＝葛黒、与助岱（午前九時～正午）

善意

▽日本舞踊藤蔭流たかのす鳳扇会（会主・藤蔭鳳樹）からチャリティーショー収益金として五万円

▽ディズニー映画を観る会から二万円

町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽新屋敷＝成田清悦さんから亡妻トキエさんの香典返し

▽岩脇＝岩本新一さんから亡母ヨシさんの香典返し

▽坊沢上町＝佐藤エミさんから亡夫雅道さんの香典返し

▽今泉＝戸嶋政市さんから亡弟政秋さんの香典返し

▽大町＝成田幸雄さんから亡母ナヨさんの香典返し

▽前山＝長崎吉蔵さんから亡母ハルさんの香典返し

▽葛黒＝笹代邦雄さんから亡父力蔵さんの香典返し

▽羽立＝高坂一男さんから亡父一郎さんの香典返し

▽七日市＝畠山雅見さんから亡父益雄さんの香典返し

▽大沢＝田村清悦さんから亡父二郎さんの香典返し

一月は町税最後の納期です。

―町民税第四期、保険税第六期―

慶弔だより

12月1日～12月15日

■誕生おめでとうございます

澤田　知世（ともよ）（隆　二女）材木町
長岐　賢正（けんせい）（篤市　長男）中　畑
石岡　合歓（ねむ）（春彦　長女）元　町
佐藤　珠里（じゅり）（英樹　二女）舟見町

武田　初美（はつみ）（茂男　長女）掛　泥
金　拓紘（たくひろ）（仁史　長男）舟見町

■二人の前途を祝福いたします

（藤田寿人　前山）
（奈良田朋子　綴子上町）
（吉田勝美　伊勢町）
（畠山由美子　舟場）
（田口尚美　あけぼの町）
（成田良子　太田）
（佐藤勝　脇神）
（伊藤直子　前野）
（藤原栄市　下舟木）
（笹原幸子　湯ノ岱）
（清水繁明　明利又）
（杉田マスミ　森吉町）
（和田信　大町）
（田中淳子　大館市）

おくやみ申し上げます

笹原　弥市（66歳）湯ノ岱
三浦　チヨ（77歳）松葉町
成田多治郎（80歳）田中
畠山　益穂（54歳）七日市
宮腰　佐吉（49歳）南鷹巣
武田忠治郎（91歳）下町
田村　二郎（63歳）大沢
米沢　スヱ（80歳）糠沢
相馬　善紀（44歳）あけぼの町
成田久一郎（85歳）南田中
畠山アイ子（70歳）綴子大畑
土濃塚　實（56歳）住吉町
五代儀一佳（51歳）舟見町

写真：鷹巣中央公園中の島にて